

平成 25 年度
卒業予定者による
フィードバック調査結果

平成 26 年 5 月
教育・国際室

目次

1.	総評	1
2.	集計結果	3
3.	平成 24 年度との比較	7
4.	実施要綱	12
5.	アンケート項目	13

平成 25 年度卒業予定者によるフィードバック調査の総評

副理事（教育改革担当） 古澤 修一

今回で 5 年目の調査でしたが、回収率は昨年度が一昨年度より約 9% 下がり、今年もまた昨年度より約 5% 下がって 21.43% となってしまいました。学部間およびプログラム間でも回収率に差がありましたが、アンケート結果の信頼性を得るためには、より多くの回答結果が必要です。昨年も総評で記載いたしましたが、大学評価としての認証評価では、教育の内部質保証が求められています。その観点から、各部局の教育・研究のレベルを把握して、改善・向上させるアセスメントのシステムが機能してはなりません。しかしながら、現状ではアセスメントに有効なデータが不足していると判断せざるを得ません。回収率を上げるためには、広報や各部局での周知などの対策が必要と考えます。昨年、アンケート回収方法の検討を行い、アンケートに答えやすい導線を改善する必要があると記載しました。そこで、大学院課程では、紙ベースでの解答に切り替えた部局もあります。このアンケートは授業評価アンケートとは異なりますので、学士課程でも、回答しやすい学生の導線を構築する等の措置を行う必要があります。国立大学法人が社会に説明する責任および義務として、内部質保証のシステムを構築することは、全学で考えていかなければならないと考えています。

しかしながらこのような回答率であっても、各部局においては 24 年度の学生の声を真摯に受け止め、改革・改善に向けた取り組みに役立てて戴きたく、宜しく願いいたします。

学士課程卒業予定者のアンケート結果から見えることは、ほぼ全ての項目で 24 年度よりも 25 年度卒業生の満足度が低い結果となっていることです。

1) 到達度評価の活用方法では、薬学部で「到達度を意識して履修した」というコメントが、ほぼ 0% から 25% までに増加し、到達度評価の存在を知らなかった学生は約 25% から 0% と居なくなりました。14.5% の学生の評価なので、簡単に較べることはできませんが、部局において、到達度を意識して履修させる指導が昨年以上に徹底して行われたことが伺えます。2) それに較べて法学部では、「活用しなかった」と存在を知らなかった学生が 80% 近くを占めています。到達目標プログラムの導入は、広島大学全体で行っていますので、鋭意努力していただきたいと思います。

2) チューターの履修指導の適切性では、24 年度から 25 年度に劇的な変化が有り、チューターの履修指導の適切性があつたと思う学生は、平成 24 年度 20% 強から平成 25 年では 75% 強にまで更新しました。この原因には様々な事が考えられますが、平成 25 年度チューター用のチューター研修会の内容を一新し、講演タイトルを全て「〇〇とチューターの役割」と題して行い、チューターの役割を項目毎に理解して戴く研修内容が、劇的に向上した大きな原因ではないかと考えられます。

3) 研究室への配属状況と、4) 卒業研究の有意義度では、ほとんど年度変化がありませんでした。

5) 教養教育に対する満足度では、満足度が若干伸びています。23年度の教養教育改革を行う以前に教養教育を受講した学生がほとんどですが、22年度以前でも、教員の努力の積み重ねで若干でも満足度が上がっているのか、それとも、学生が到達目標型プログラムを理解にすることにより、教養教育の意味も理解し始めてと考える事もできると思います。

6) 所属学部の学生支援室の学生対応とサービスに対する満足度では、全学部平均ですと昨年と変わらないのですが、総合科学部、薬学部で満足度が向上しています。しかしながら、生物生産学部では100%近い満足度が60%にまで下がっています。下がった部局では、点検を行い、改善を行って戴きたいと思います。

7) 学生プラザの学生支援部門の学生対応とサービスに対する満足度では、医歯薬の学生さんの満足度が低いことは、専門でキャンパスが異なることから現時点では仕方が無いことかと判断します。

8) 保健管理センターの対応への満足度ですが、全ての学部で80%強の学生さんが利用されていて、満足度は毎年高く、不満を感じている学生はやはり5%位は存在します。理由が明らかになれば、対応策も充分に取れるものと思われます。

9) 専門教育に対する満足度と、10) 図書館への満足度、11) 福利厚生施設への満足度、12) 課外活動氏悦などへの満足度、13) 課外活動への満足度は、ほぼ全ての項目で満足度の高いところで、昨年と同じ傾向を示していました。

14) キャリア支援に関する項目では、多くの学生が利用していないことに驚きを感じました。もっと利用できるような体制作りを考えていくことも必要と感じました。

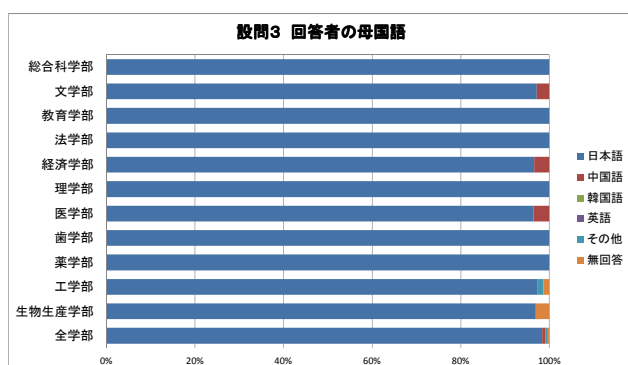
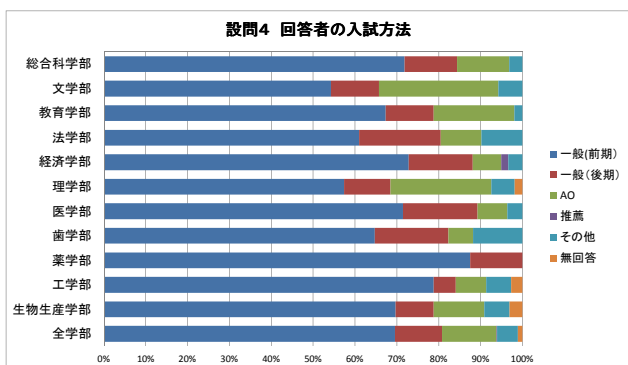
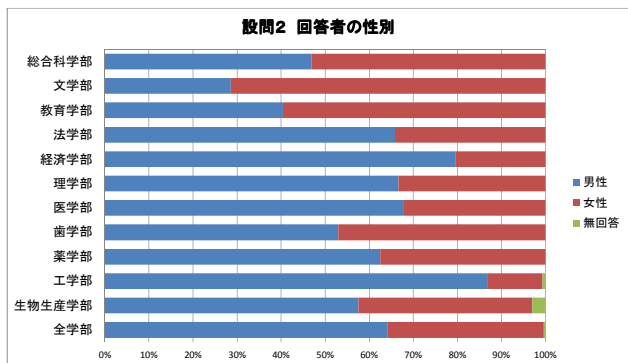
アンケート調査は毎年行いますので、この結果を真摯に受け止め、部局毎で改善が必要な点を洗い出し、自己点検、つまり、内部質保証の方策に利用していただければ幸いです。

1. 集計結果(学士課程)

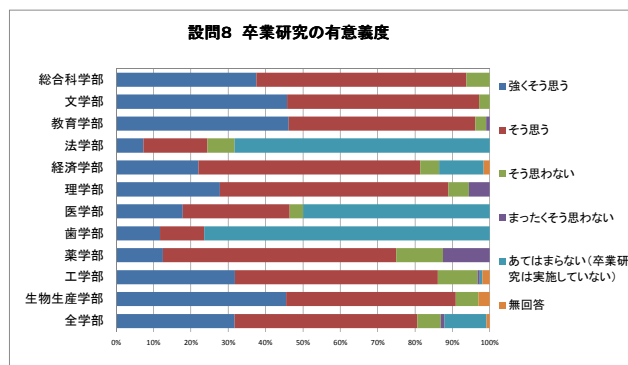
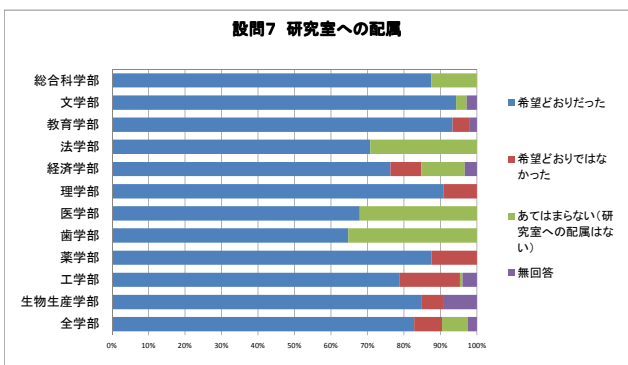
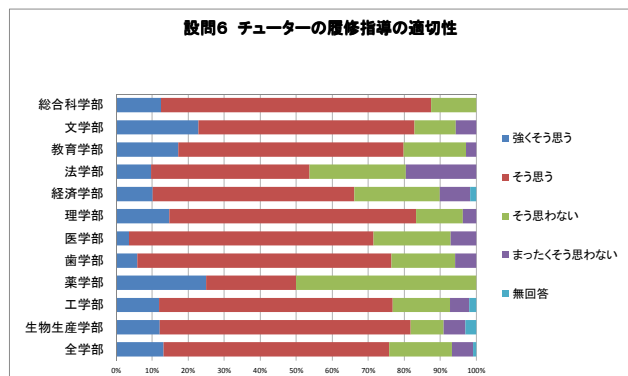
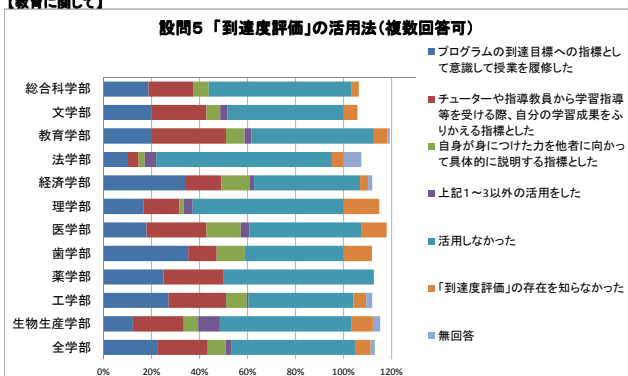
学部	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
総合科学部	136	32	23.53%
文学部	169	35	20.71%
教育学部	568	104	18.31%
法学部	218	41	18.81%
経済学部	276	59	21.38%
理学部	242	54	22.31%
医学部	232	28	12.07%
歯学部	102	17	16.67%
薬学部	55	8	14.55%
工学部	526	151	28.71%
生物生産学部	99	33	33.33%
全学部	2623	562	21.43%

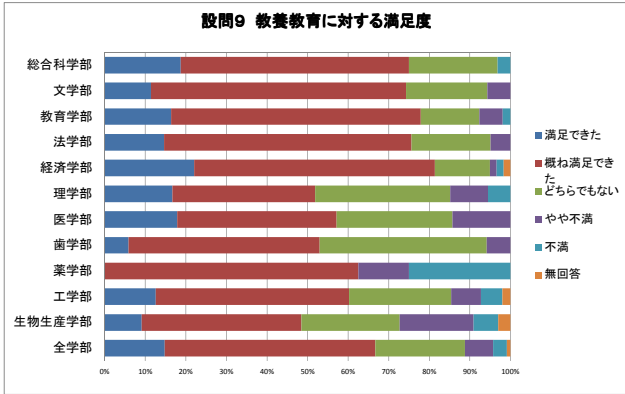
【回答者に関して】
設問1 回答者の所属プログラム等





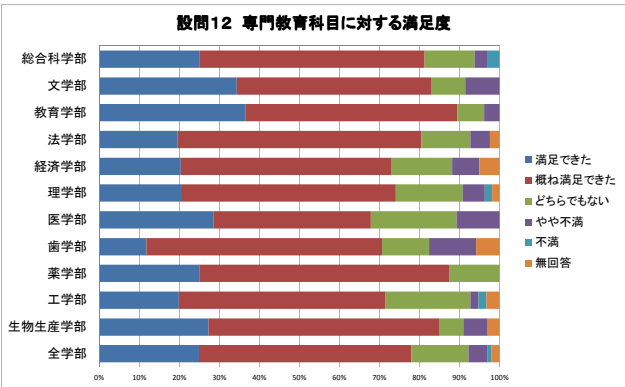
【教育に関して】





設問10: 9で回答した理由
自由記述により省略

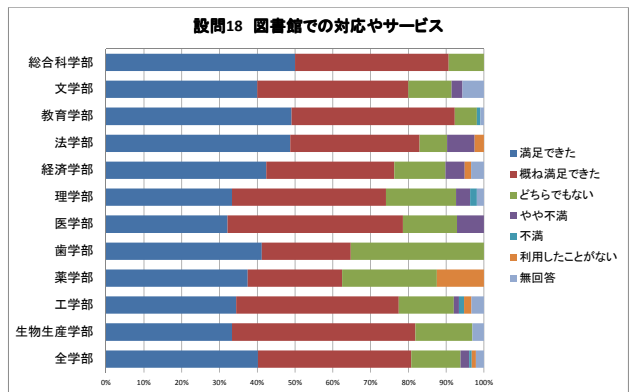
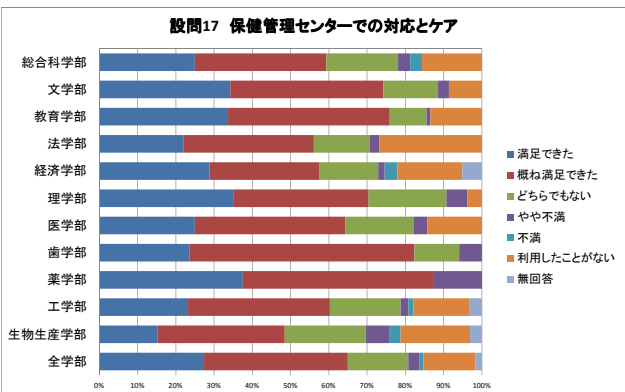
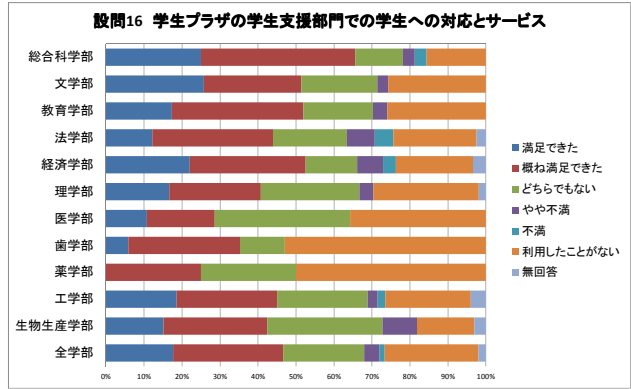
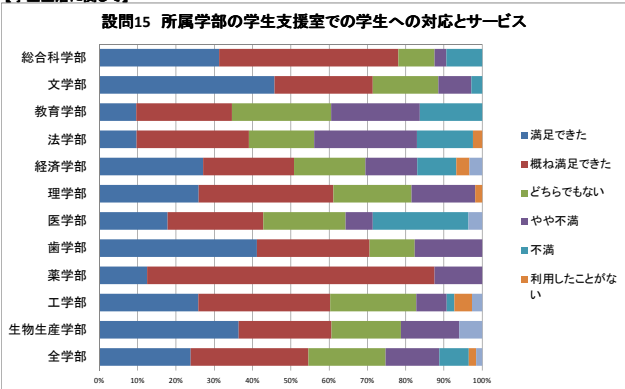
設問11: 「教養教育でもっと学んで(身に付けて)おけば良かった」と思う知識や能力・技能
自由記述により省略

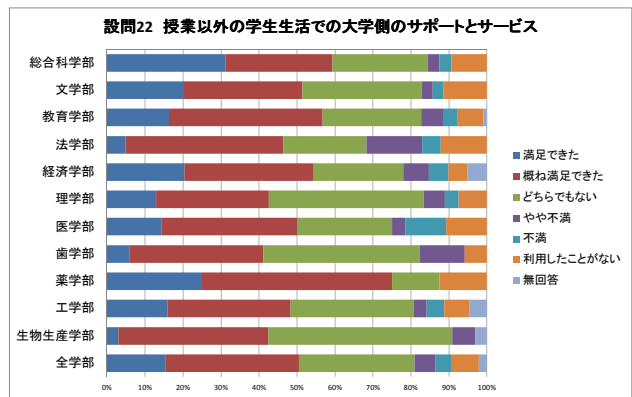
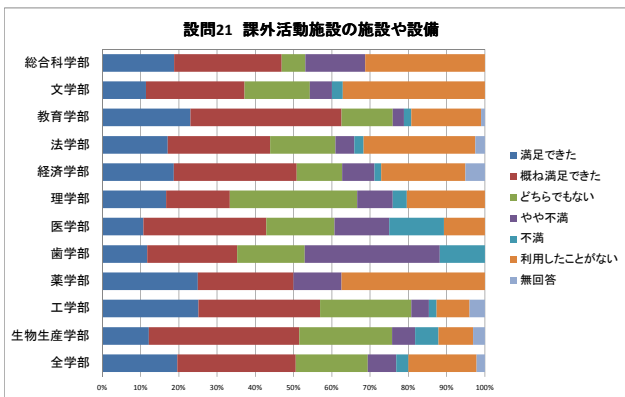
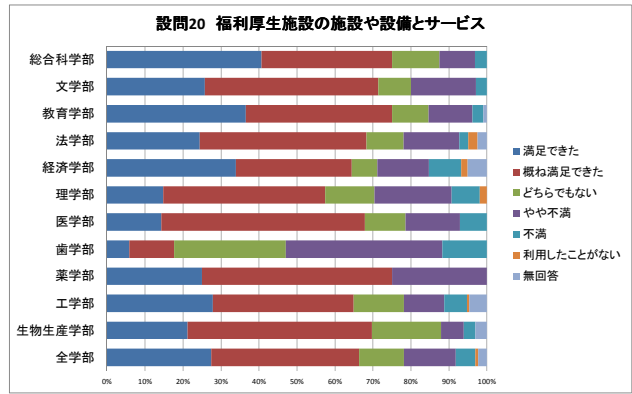
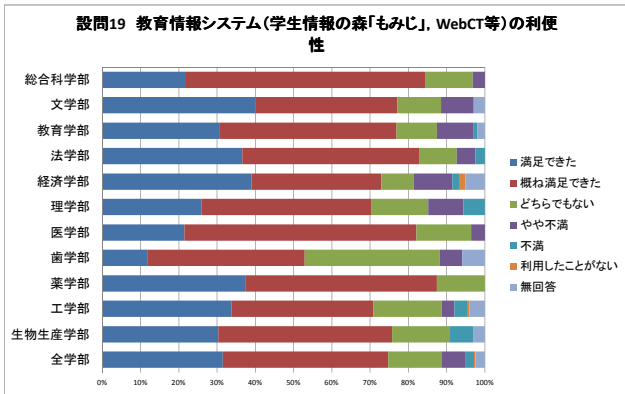


設問13: 12で回答した理由
自由記述により省略

設問14: 「専門教育でもっと学んで(身に付けて)おけば良かった」と思う知識や能力・技能
自由記述により省略

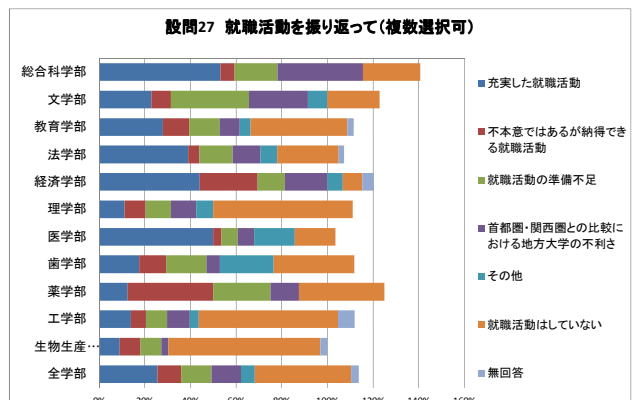
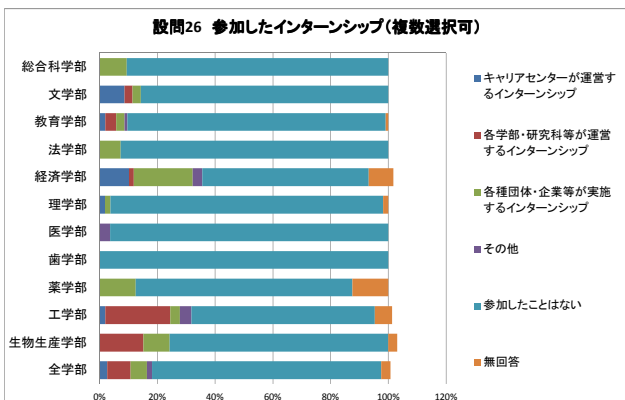
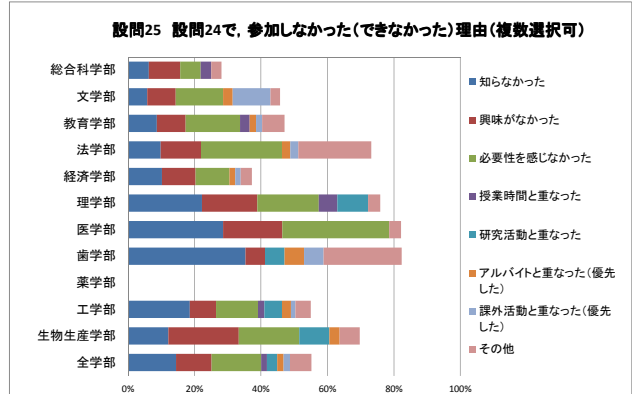
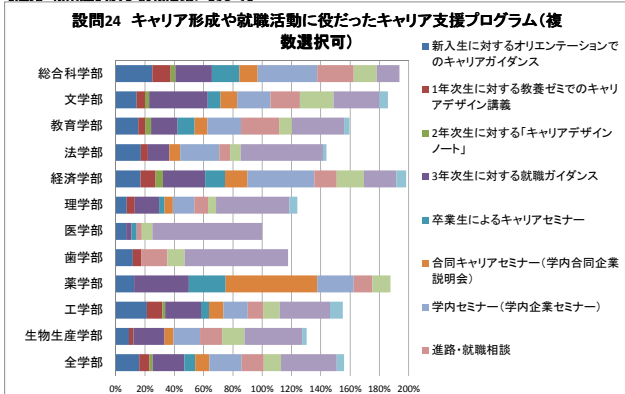
【学生生活に関して】





設問23 学生生活について、ご意見、ご要望があれば自由に記述してください。
自由記述により省略

【進路・職業選択及び就職活動に関して】



設問28 進路就職選択及び就職活動を振り返って、キャリアセンターに対するご意見や必要だと思う支援プログラム等について
自由記述により省略

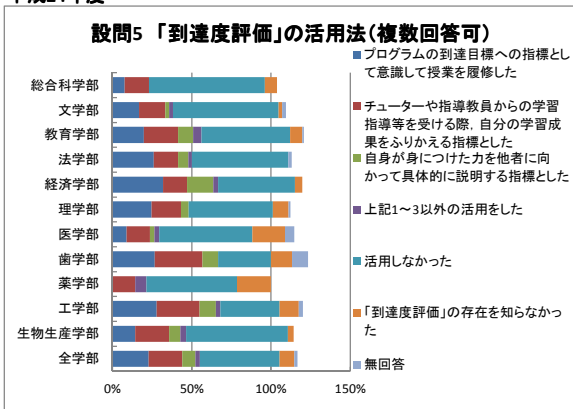
平成24年度

学部	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
総合科学部	128	26	20.31
文学部	186	42	22.58
教育学部	556	116	20.86
法学部	219	46	21.00
経済学部	249	66	26.51
理学部	256	81	31.64
医学部	243	34	13.99
歯学部	88	30	34.09
薬学部	54	14	25.93
工学部	513	204	39.77
生物生産学部	114	28	24.56
全学部	2,606	687	26.36

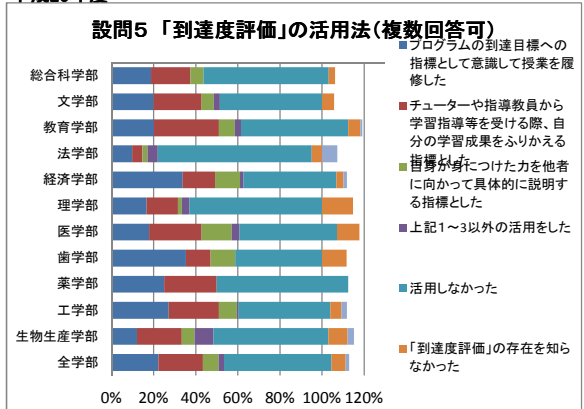
平成25年度

学部	対象者数(人)	回答者数(人)	回答率(%)
総合科学部	136	32	23.53
文学部	169	35	20.71
教育学部	568	104	18.31
法学部	218	41	18.81
経済学部	276	59	21.38
理学部	242	54	22.31
医学部	232	28	12.07
歯学部	102	17	16.67
薬学部	55	8	14.55
工学部	526	151	28.71
生物生産学部	99	33	33.33
全学部	2,623	562	21.43

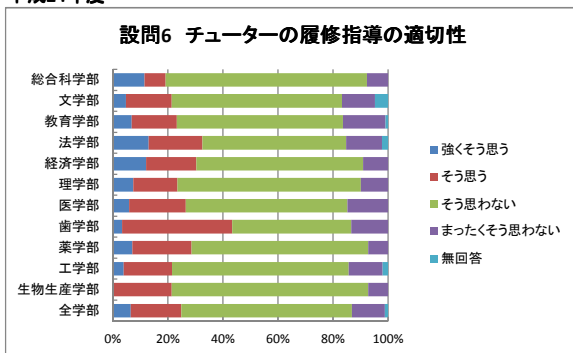
平成24年度



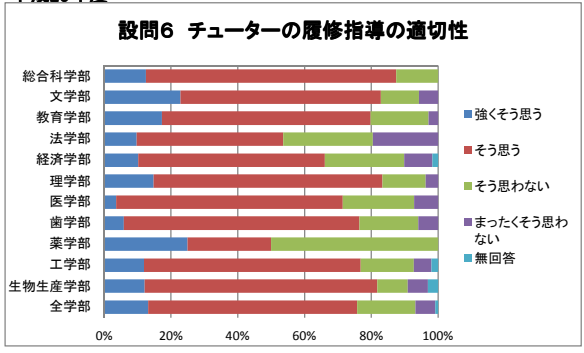
平成25年度



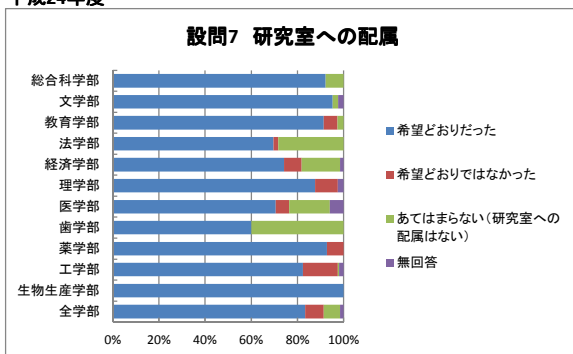
平成24年度



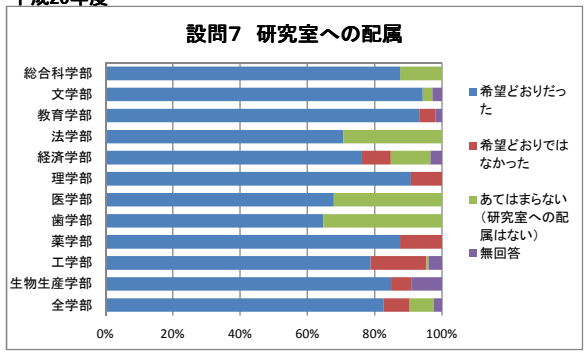
平成25年度



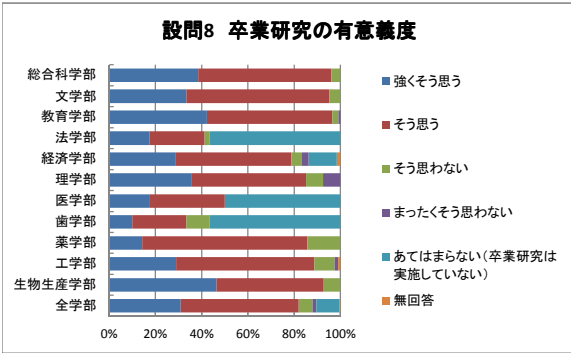
平成24年度



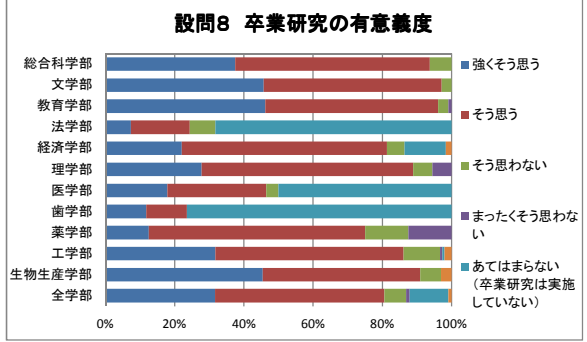
平成25年度



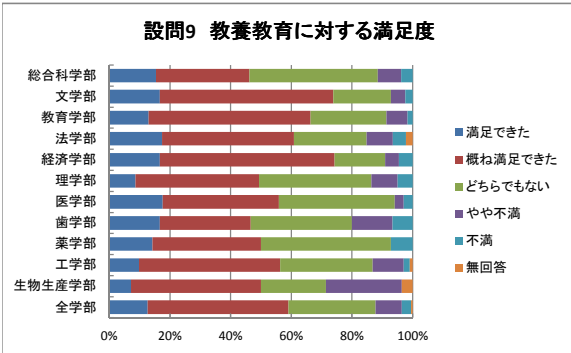
平成24年度



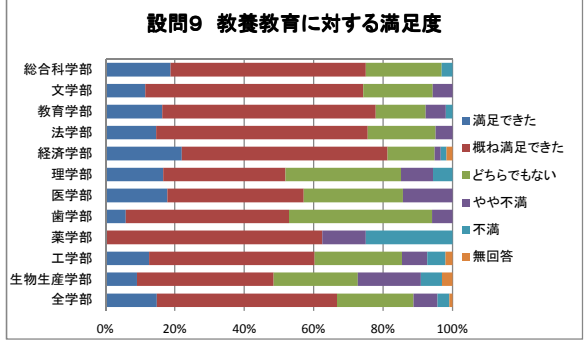
平成25年度



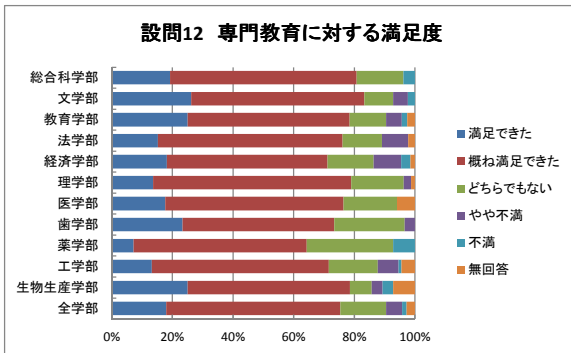
平成24年度



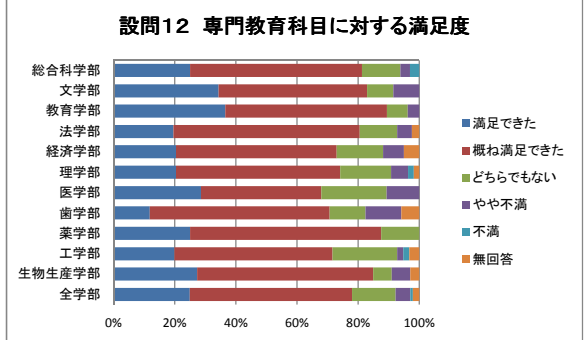
平成25年度



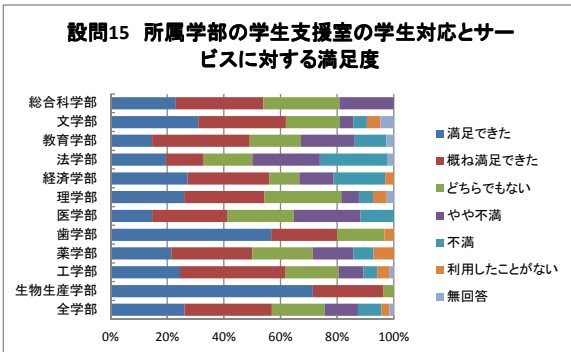
平成24年度



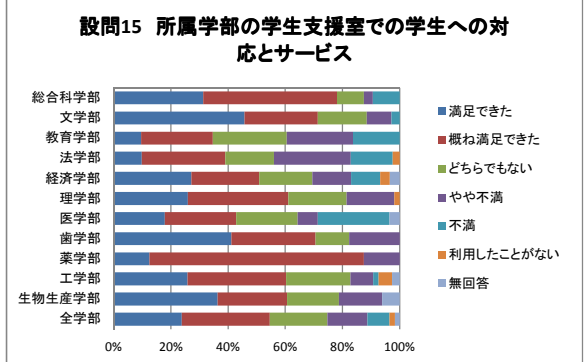
平成25年度



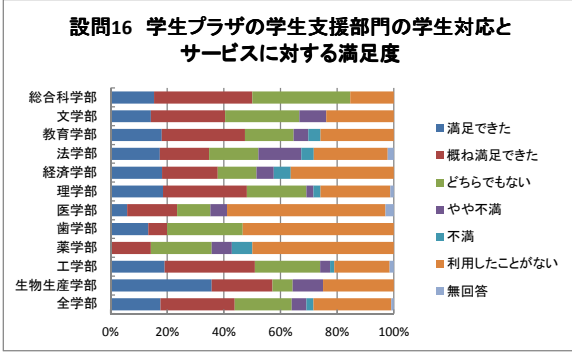
平成24年度



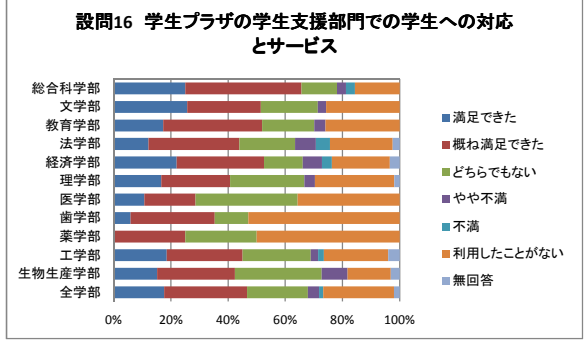
平成25年度



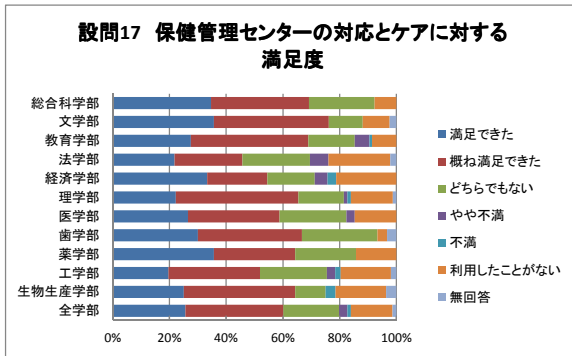
平成24年度



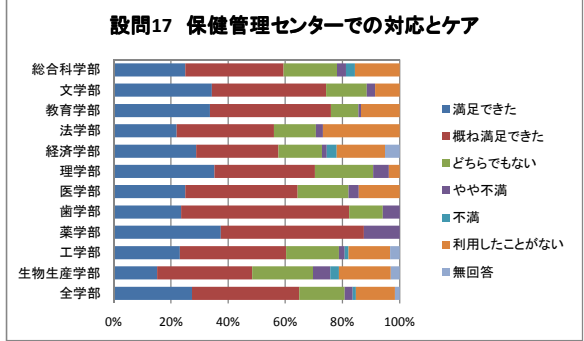
平成25年度



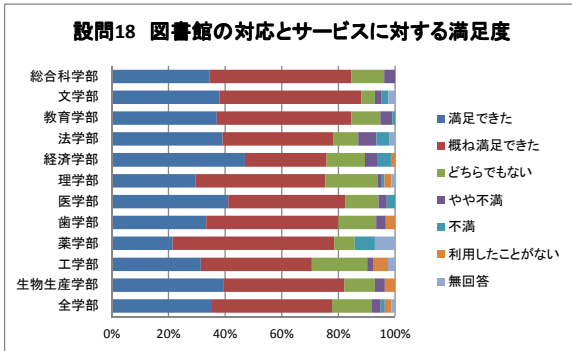
平成24年度



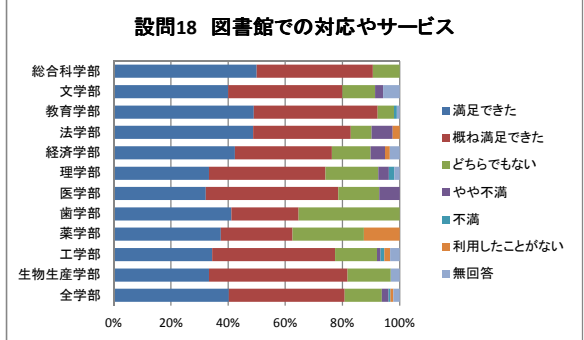
平成25年度



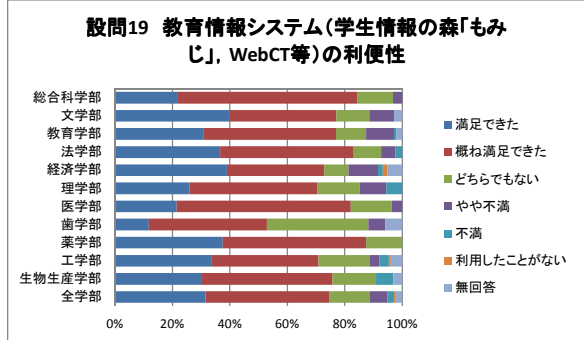
平成24年度



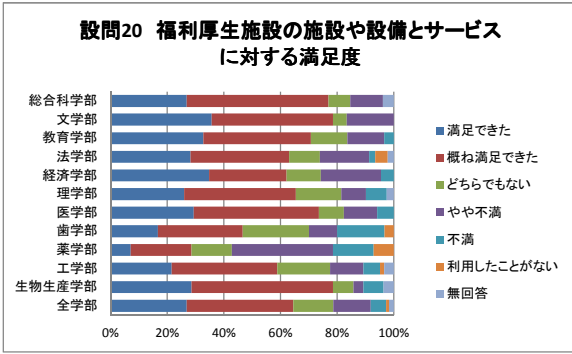
平成25年度



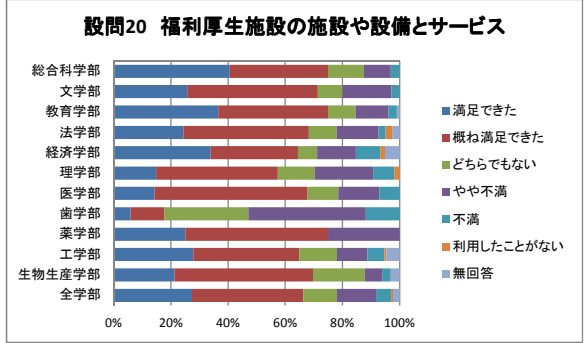
平成25年度(新規設問)



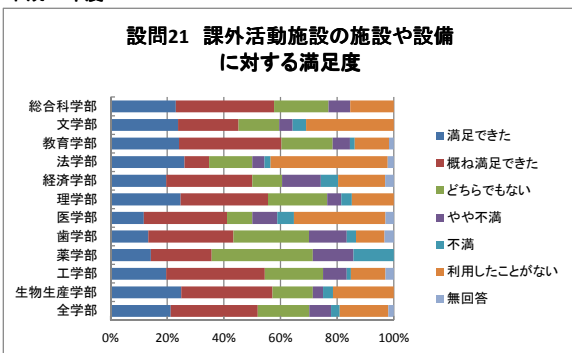
平成24年度



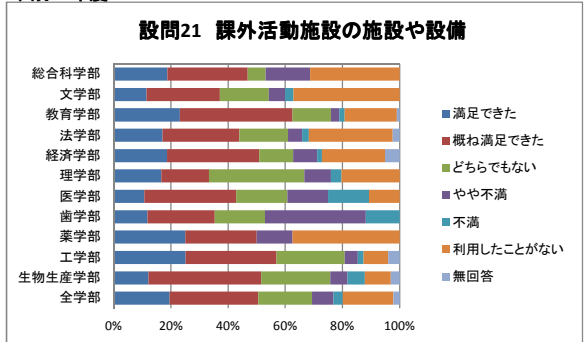
平成25年度



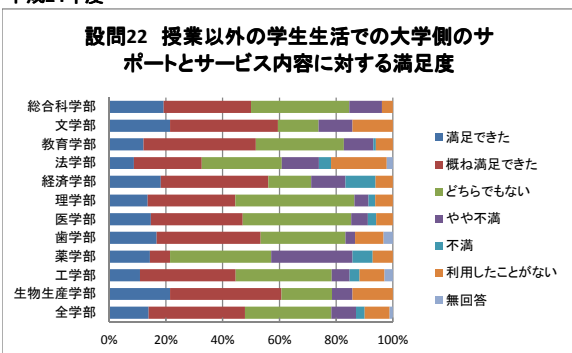
平成24年度



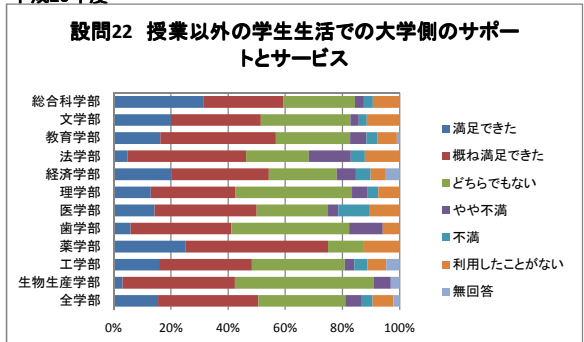
平成25年度



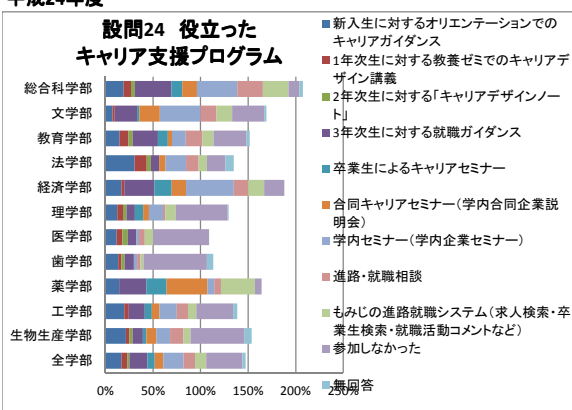
平成24年度



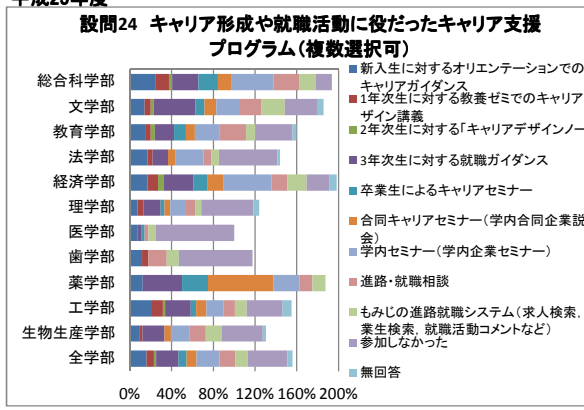
平成25年度



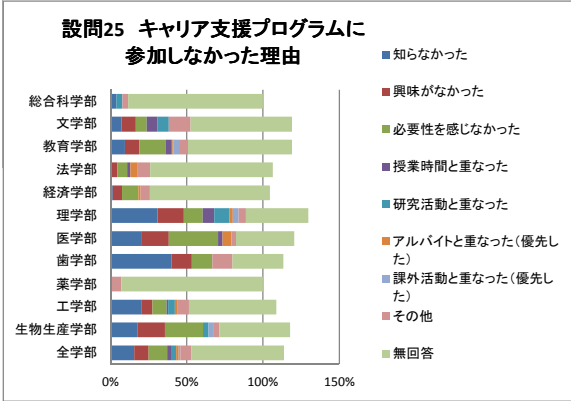
平成24年度



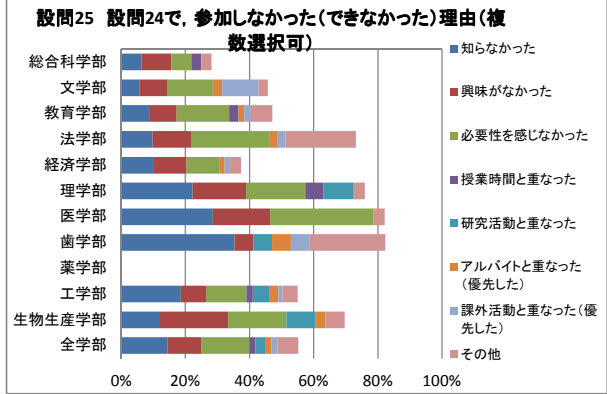
平成25年度



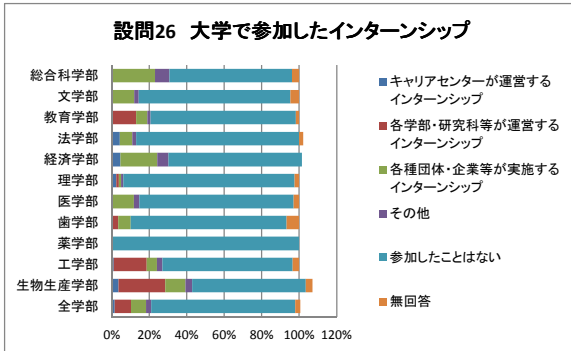
↓参加しなかった理由
平成24年度



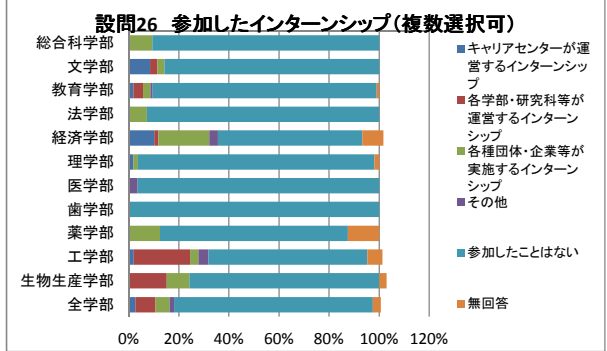
↓参加しなかった(できなかった)理由
平成25年度



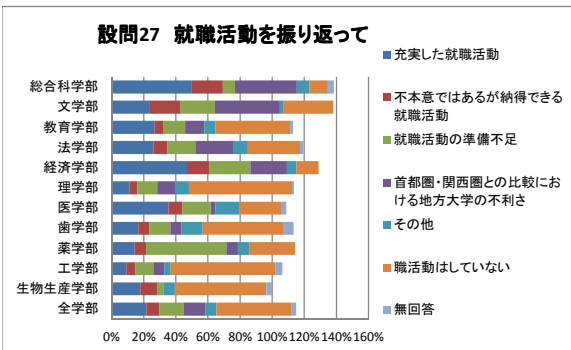
平成24年度



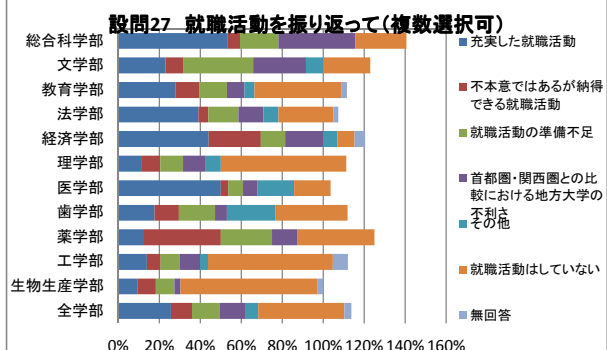
平成25年度



平成24年度



平成25年度



平成 25 年度「卒業予定者によるフィードバック調査」実施要綱

1. 実施目的

本調査は、学士課程教育及び学生支援を実際に受けた学生からの意見を集約するために、卒業を間近に控える学生を対象として実施するものである。学士課程教育及び学生支援についての学生の意見を総合的に集約・分析・公表することにより、各教育組織と各学生支援担当教職員の認識を高め、学士課程教育の質保証及び学生支援の充実・改善に資することを目的とするものである。

2. 調査の実施主体

教育・国際室教育支援グループが実施する。

3. 調査の実施方法

「学生情報の森 もみじ」のアンケート機能を使用して実施する。

4. 調査の実施対象

- (1) 学士課程教育
- (2) 学生生活
- (3) 就職活動

以上の3つの領域に関する総合的な内容とする。

5. 調査の実施時期

学生のアンケート回答期間は、平成 26 年 2 月 1 日（土）～平成 26 年 3 月 22 日（土）とする。

6. 調査項目

調査項目は、各所掌の部署（学生生活会議／学生生活支援グループ、キャリアセンター会議／キャリア支援グループ、教養教育会議／教養教育本部支援グループ、学士課程会議、大学院課程会議／教育推進グループ、入学センター会議／入試グループ）が提案し、教育支援グループが調整し、策定したものを基本とする。

7. 調査の対象学生

平成 25 年度卒業見込みの学生を対象とする。

8. 調査結果の集計・公表等

- (1) 集計結果は各所掌の部署へフィードバックし、今後の教育及び学生支援に向けた改善を促す。
- (2) 調査結果は、広島大学の HP において大学内外に向けて公表を行う。

9. その他

- (1) 調査は、「1. 実施目的」に記載した目的以外には利用しない。
- (2) 「学生情報の森 もみじ」から調査対象の学生に向けて、調査に回答するようアナウンスを行う。
- (3) この要綱に定めるもののほか、調査実施について必要な事項は、教育・国際室が別に定める。

平成 25 年度 卒業予定者によるフィードバック調査

設問数 28

- ① 履修した主専攻プログラム名を選択してください。
平成 17 年度以前の入学生は、学科名もしくはコース名を選択してください。
※回答選択肢は別紙を参照のこと

- ② 性別を選んでください。

1. 男性
2. 女性

- ③ あなたの母語（第 1 言語）を選んでください。

1. 日本語
2. 中国語
3. 韓国語
4. 英語
5. その他

- ④ あなたが入学した時の入試方法を選んでください。

1. 一般（前期日程）
2. 一般（後期日程）
3. AO
4. 推薦
5. その他

-----教育に関して-----

- ⑤ 教育プログラムの「到達度評価」をどのように活用しましたか。

（平成 17 年度以前の入学生は回答不要です。）（複数選択可）

1. プログラムの到達目標への指標として意識して授業を履修した
2. チューターや指導教員からの学習指導等を受ける際、自分の学習成果をふりかえる指標とした
3. 自身が身につけた力を他者に向かって具体的に説明する指標とした
4. 上記 1～3 以外の活用をした
5. 活用しなかった
6. 「到達度評価」の存在を知らなかった

- ⑥ チューターによる履修指導は適切に行われたと思いますか。

1. まったくそう思わない
2. そう思わない
3. そう思う
4. 強くそう思う

- ⑦ 研究室への配属は希望どおりでしたか。

1. あてはまらない（研究室への配属はない）
2. 希望どおりではなかった
3. 希望どおりだった

- ⑧ 卒業研究は、あなたにとって有意義であったと思いますか。

1. あてはまらない（卒業研究は実施していない）
2. まったくそう思わない
3. そう思わない
4. そう思う

5. 強くそう思う

⑨ 履修した教養教育の内容に満足しましたか。

1. 不満
2. やや不満
3. どちらでもない
4. 概ね満足できた
5. 満足できた

⑩ ⑨で回答した理由について、具体的にお答えください。(自由記述)

⑪ 「教養教育でもっと学んで(身に付けて)おけば良かった」と思う知識や能力・技能があれば、具体的にお答えください。
(自由記述)

⑫ 履修した専門教育の内容に満足しましたか。

1. 不満
2. やや不満
3. どちらでもない
4. 概ね満足できた
5. 満足できた

⑬ ⑫で回答した理由について、具体的にお答えください。(自由記述)

⑭ 「専門教育でもっと学んで(身に付けて)おけば良かった」と思う知識や能力・技能があれば、具体的にお答えください。
(自由記述)

-----学生生活に関して-----

⑮ 所属学部の学生支援室での学生への対応とサービスに満足しましたか。

1. 不満
2. やや不満
3. どちらでもない
4. 概ね満足できた
5. 満足できた
6. 利用したことがない

⑯ 学生プラザの学生支援部門での学生への対応とサービスに満足しましたか。

1. 不満
2. やや不満
3. どちらでもない
4. 概ね満足できた
5. 満足できた
6. 利用したことがない

⑰ 保健管理センターでの対応とケアに満足しましたか。

1. 不満
2. やや不満
3. どちらでもない
4. 概ね満足できた
5. 満足できた
6. 利用したことがない

⑱ 図書館での対応やサービスに満足しましたか。

1. 不満
2. やや不満
3. どちらでもない
4. 概ね満足できた
5. 満足できた
6. 利用したことがない

⑲ 教育情報システム（学生情報の森「もみじ」、WebCT等）の利便性に満足しましたか。

1. 不満
2. やや不満
3. どちらでもない
4. 概ね満足できた
5. 満足できた
6. 利用したことがない

⑳ 福利厚生施設（食堂や売店等）の施設や設備とサービスに満足しましたか。

1. 不満
2. やや不満
3. どちらでもない
4. 概ね満足できた
5. 満足できた
6. 利用したことがない

㉑ 課外活動施設（グラウンドや体育館、テニスコート等）の施設や設備に満足しましたか。

1. 不満
2. やや不満
3. どちらでもない
4. 概ね満足できた
5. 満足できた
6. 利用したことがない

㉒ 授業以外の学生生活での大学側のサポートとサービス内容に満足しましたか。

1. 不満
2. やや不満
3. どちらでもない
4. 概ね満足できた
5. 満足できた
6. 利用したことがない

㉓ 学生生活について、ご意見、ご要望等があれば自由に記述してください。

-----進路・職業選択及び就職活動に関して-----

㉔ 下記のキャリア支援プログラムで、キャリア形成や就職活動に役立ったものは何ですか。（複数選択可）

1. 新入生に対するオリエンテーションでのキャリアガイダンス
2. 1年次生に対する教養ゼミでのキャリアデザイン講義
3. 2年次生に対する「キャリアデザインノート」
4. 3年次生に対する就職ガイダンス
5. 卒業生によるキャリアセミナー
6. 合同キャリアセミナー（学内合同企業説明会）
7. 学内セミナー（学内企業セミナー）

8. 進路・就職相談
9. もみじの進路就職システム（求人検索・卒業生検索・就職活動コメントなど）
10. 参加しなかった

㉕ 設問 24 で「10.参加しなかった」を選択した方に聞きます。参加しなかった（できなかった）理由は何ですか。（複数選択可）

1. 知らなかった
2. 興味がなかった
3. 必要性を感じなかった
4. 授業時間と重なった
5. 研究活動と重なった
6. アルバイトと重なった（優先した）
7. 課外活動と重なった（優先した）
8. その他

㉖ あなたは大学入学後に次のインターンシップに参加したことがありますか。（複数選択可）

1. キャリアセンターが運営するインターンシップ
2. 各学部・研究科等が運営するインターンシップ
3. 各種団体・企業等が実施するインターンシップ
4. その他
5. 参加したことはない

㉗ 就職活動を振り返って、どのように感じましたか。（複数選択可）

1. 充実した就職活動
2. 不本意ではあるが納得できる就職活動
3. 就職活動の準備不足
4. 首都圏・関西圏との比較における地方大学の不利さ
5. その他
6. 就職活動はしていない

㉘ あなたの進路・就職選択及び就職活動を振り返って、キャリアセンターに対するご意見や必要だと思う支援プログラム等がありましたら、自由に記述してください。（自由記述）